

クロバナキハギ *Lespedeza bicolor* Turcz. var. *higoensis* (T.Shimizu) Murata

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 3、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 4、総点 15。愛知県東三河地方の山地を特徴づける植物の一つで、本地域に著しい隔離分布をする。県内では生育地も個体数も少ない。

【形態】

落葉性の半低木。高さ 2m に達する。葉は互生し、3 出葉、頂小葉は楕円形、円頭からやや鋭頭、長さ 1.5cm~4cm、裏面に短毛がある。花期は 7~9 月、葉腋の比較的短い総状花序に、長さ 11~15mm の暗赤紫色の蝶形花をつける。がく裂片は筒部より短く、円頭で毛が少ない。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：3 東栄 (小林 38794, 1992-8-16)、8 鳳来北東部 (芹沢 83292, 2008-9-14)。

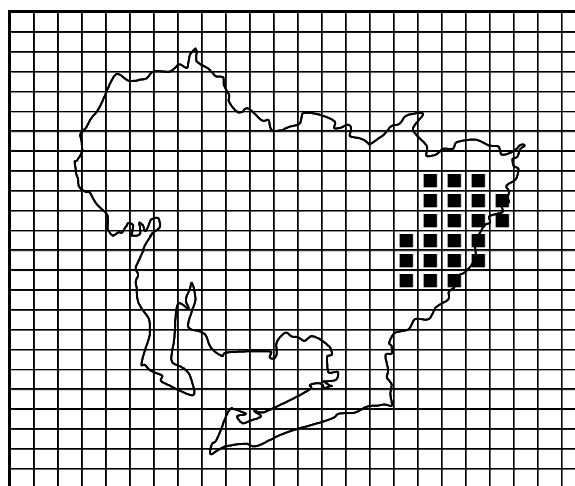
【国内の分布】

本州 (愛知県) と九州 (熊本県) に隔離的に分布する。

【世界の分布】

日本および朝鮮半島南部。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の岩崖地に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

生育地は少なく、またどの場所でも個体数は多くない。自然の岩場のほか、林道わきなどに生育していることもあり、後者の場合は道路の改修等により消滅するおそれがある。ハギ類としては花が少なく、まばらにつき、あまり見栄えがしないが、希少種とわかれば園芸目的で採取されるおそれもある。

【保全上の留意点】

道路の改修等が行われる場合、法面に岩肌が残されればそのうちに再度生育する可能性があるが、コンクリートで固められれば復活は不可能である。工事に際し、配慮が必要である。

【特記事項】

花は暗赤紫色であるが、「クロバナ」というほど暗色ではない。独立種 *L. melanantha* Nakai とする見解もある。

【関連文献】

平草本 II p.205, 平新版 2 p.278, SOS 旧版 p.60+図版 7, 環境省 p.479, SOS 新版 p.46,48.